

事業シート(令和3年度予算)

事業名	71100 道路河川等整備推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・東海北陸自動車道の全線4車線化、中部縦貫自動車道の早期全線開通に向けて、引き続き関係機関に要請していきます。また、市内の生活道路整備を始めとした誰もが便利に暮らせるまちづくりに取り組みます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	1	土木管理費		根拠計画				
			目	1	土木管理費						
担当課	建設部 建設課	内線	2321								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 国、県の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 河川の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。 	概要	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施
----	---	----	---

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		3,654	3,524	3,390		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源		3,654	3,524	3,390		
個票枝番	主な事業内容					
	各種同盟会への負担金	3,314	3,195	3,050		

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,343	3,240	3,240	△ 150
3,343	3,240	3,240	△ 150
査定額	説明		
2,900			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道路等社会基盤の整備促進に向け、国、県等へ11回(7月～12月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 中部縦貫自動車道事業を強力に促進するため、行政と経済団体が連携して国へ要望活動を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨地域3市1村の首長による効果的な要望活動を行うと共に、同盟会負担金の低減を図った。 中部縦貫自動車道(平湯～日面)が計画段階評価を進める調査対象区間に決定。 国道156号尾神橋の新設事業化が決定。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望や提言活動の実施に努める。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度予算)

事業名	72300	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
	~		7	土木費	まちづくり戦略		(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築			
	72380		2	道路橋りょう費	橋りょう長寿命化修繕計画						
	2328		3	道路新設改良費							
担当課	建設部 建設課	内線									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市道の安全性と信頼性を高めるとともに、機能的な地域内道路網を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 道路の新設、拡幅改良、歩道設置 橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 道路用地の取得
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
耐震、長寿命化対策実施橋りょう数(累計)	105橋		150橋
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	53.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	753,590	531,974	351,990			
特定財源	国費(道路整備事業費 5.5/10、5/10)	264,663	209,708	163,700		
	県費					
	その他(地方債、公共施設整備基金繰入金)	343,133	146,630	134,000		
一般財源		145,794	175,636	54,290		
個票枝番	主な事業内容					
	道路改良・道路舗装・側溝改良	314,354	212,446	106,500		
	橋りょう長寿命化改良	208,746	202,176	214,000		
	旅行村線	11,000	813	30,000		
	宮川人道橋(景観まちづくり刷新事業)	218,000	116,539			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		391,000
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
658,003	492,590	492,590	140,600	
332,225	251,895	251,895	88,195	
	201,000	201,000	67,000	
325,778	39,695	39,695	△ 14,595	
査定額	説明			
62,600	中切63号線 ほか			
115,500	三福橋 ほか			
313,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮川人道橋の施工。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、長寿命化修繕及び耐震対策工事を実施した。 道路改良・道路舗装・側溝改良を実施した。 千島松本線 千島線 上切中切2号線 村上田頃家線(村上橋) 道路拡幅に必要な用地取得を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施の必要がある。 コスト縮減にあたっては、初期整備に係る経費だけでなく、整備後の維持管理経費や将来的な更新費用なども含めた総合的な視点から取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の費用を軽減する橋りょうの老朽化対策を計画的に推進する。 地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	橋りょうの長寿命化、道路の整備促進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	72390 県営土木事業負担金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
			項	2	道路橋りょう費		根拠計画			
			目	3	道路新設改良費					
担当課	建設部 建設課	内線	2321							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 急傾斜地等の整備促進により、災害から市民の生命財産の保護を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内で、県が実施する事業への受益者負担の支出
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	199,000	194,835	70,000			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	199,000	194,835	70,000			
個票枝番	主な事業内容					
	県営土木事業負担金	199,000	194,835	70,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		70,000
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
70,000	70,000	70,000	0	
70,000	70,000	70,000	0	
査定額	説明			
70,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 県営土木事業負担金 高山土木事務所管内 一般国道361号(高根町地内)、一般国道156号(荘川町地内)他 古川土木事務所管内 主要地方道国府見座線(国府町地内)、急傾斜地崩壊対策事業(国府町地内)他
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の生活環境の向上に必要な道路等インフラの早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度予算)

事業名	74300	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・市内の業界・企業の皆様と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
	～		款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
	74315		項	4	都市計画費		根拠計画				
	担当課		建設部 建設課	内線	2328			目	2		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山駅周辺及び内環状線を構成する都市計画道路において、歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 無電柱化事業により、駅周辺の良好な景観形成と大規模災害時の電柱等の倒壊による道路の寸断を防止する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 道路の新設 都市計画道路 松之木千鳥線 道路の拡幅改良、歩道設置、無電柱化
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
都市計画道路(市道部分)の整備率	57%		-
「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	53.5%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		77,648	48,762	396,648		
特定財源	国費 (街路整備事業費 5.5/10 5.0/10)	3,850	0	141,900		
	県費 ()					
	その他(都市計画税)	30,000	30,000	246,600		
一般財源		43,798	18,762	8,148		
個票枝番	主な事業内容					
	都市計画道路松之木千鳥線	77,000	48,319	396,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		307,500
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
334,461	295,648	295,648	△ 101,000	
173,560	155,900	155,900	14,000	
159,549	139,100	139,100	△ 107,500	
1,352	648	648	△ 7,500	
査定額	説明			
295,000	千鳥工区、松之木～江名子工区			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路 松之木千鳥線 千鳥工区 道路詳細設計 松之木～江名子工区 道路予備設計
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保に向けた国・県等への働きかけを積極的に行いながら、計画的な事業進捗に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 <ul style="list-style-type: none"> ・地元や関係機関との調整を図り、早期整備に向け、計画的な事業進捗を図る。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	道路の整備促進に必要な経費を計上
---------------------	------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度予算)

事業名	74400 中部縦貫自動車道等推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・東海北陸自動車道の全線4車線化、中部縦貫自動車道の早期全線開通に向けて、引き続き関係機関に要請していきます。また、市内の生活道路整備を始めとした誰もが便利に暮らせるまちづくりに取り組みます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	4	都市計画費		根拠計画				
			目	3	中部縦貫自動車道等推進費						
担当課	建設部 建設課	内線	2321								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 中部、関東、北陸圏域への人、物の移動を円滑にし、快適で利便性の高い暮らしや産業の活性化等を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望や提言活動を実施 長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望や提言活動を実施 民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 事業箇所の住民説明会の開催及び国、県と事業関係者との事業調整
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	2,600	1,464	3,090			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()						
一般財源	2,600	1,464	3,090			
個票枝番	主な事業内容					
	中部縦貫自動車道の整備促進	1,100	977	1,090		
	国道41号宮峠トンネル完成イベントの開催			2,000		
	東海北陸自動車道4車線化事業開通イベント等の開催	1,500	487			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		1,100
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,195	1,090	1,090	△ 2,000	
1,195	1,090	1,090	△ 2,000	
査定額	説明			
1,090				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 中部縦貫自動車道(高山IC~丹生川IC)間の一部で改良工事、橋りょう上下部工が施工された。 中部縦貫自動車道及び国、県道の事業促進に向けた要望活動の実施 事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会への参加、協力
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との活動内容の統合等による事務費の節減等について検討を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 整備促進に向け、関係機関と連携した要望や提言活動を今後も継続して実施する。 事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整により、事業の促進を図る。 関係団体との活動内容の統合を行い、事務費の節減を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに